

一流の演奏家たちが、東日本大震災の被災地と小・中・高校生のために奏でる「歓喜の歌」  
Sony Music Foundation 東日本大震災 復興支援プロジェクト  
**小・中・高校生のための「第九」チャリティ・コンサート 2016**  
開催のお知らせ

皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。  
公益財団法人ソニー音楽財団（東京・新宿区 理事長：加藤優）では、長年にわたり、次世代の子どもたちに向けてクラシック音楽を通して様々な活動を行ってまいりました。2011年3月11日、未曾有の災害で被災された方々を支援するには何が出来るかを考え、世界中で愛されている「ベートーヴェンの「第九」交響曲のコンサート」を通じて復興支援活動を行うこととし、2011年以降、毎年「第九」チャリティ・コンサートを開催しています。

2016年は、12月18日（日）14時より、すみだトリフォニーホールにて、指揮にフランチェスコ・イヴァン・チャンパ、管弦楽に新日本フィルハーモニー交響楽団、独唱は中村恵理（ソプラノ）、手嶋眞佐子（メゾ・ソプラノ）、吉田浩之（テノール）、岡 昭宏（バリトン）、合唱は栗友会合唱団[栗山文昭（合唱指揮）]による「ベートーヴェン：交響曲 第9番 二短調 作品125「合唱付」」をお届けいたします。演奏会の冒頭には、指揮を務めるフランチェスコ・イヴァン・チャンパとクラシック音楽に精通したナビゲーターの朝岡 聡によるプレトークで、来場した小学生、中学生、高校生の皆さんに音楽をより深く理解していただくための解説も行います。



日本での年末時期の風物詩にもなっている「ベートーヴェンの「第九」交響曲のコンサート」。是非お子様と一緒に足を運んで頂き、音楽を聴くことを通じて、被災された方々への支援に結びつけていただければと考えております。公演当日には、会場に募金箱を設置いたします。公演のチケット収入の一部と公演当日の募金は、「公益財団法人 音楽の力による復興センター・東北」に寄付し、東日本大震災復興支援活動に役立てられます。（寄付額は公演後、当財団 ホームページ<http://www.smf.or.jp/charity>にて公開いたします。）

つきましては、下記にて本公演の開催概要をお知らせいたします。何卒、貴メディアでの公演情報のお取り上げを頂きますようお願いいたします。

【開催概要】

開催日時： 12月18日（日）14:00開演 13:15開場 ※13:30～ロビーコンサートあり 終演16:00（予定）  
会場： すみだトリフォニーホール 大ホール（東京都墨田区錦糸1-2-3）  
出演： フランチェスコ・イヴァン・チャンパ（指揮・おはなし）  
新日本フィルハーモニー交響楽団（管弦楽）  
中村恵理（ソプラノ）、手嶋眞佐子（メゾ・ソプラノ）、吉田浩之（テノール）、岡 昭宏（バリトン）  
栗友会合唱団（合唱）[栗山文昭（合唱指揮）]  
朝岡 聡（ナビゲーター）

料金：  
[全席指定・税込]

- 小・中・高校生・・・ S席 2,500円 A席 1,500円  
※公演当日年齢を確認させていただく場合がございます。
- 保護者・・・ S席 5,000円 A席 3,000円  
※保護者のみの入場不可。小・中・高校生と同時にご入場ください。
- 大人のみ・・・ 5,500円  
※小中高校生を同伴せず、大人のみで来場される方が対象。枚数限定。  
※未就学児の入場はできません。  
※託児サービスあり（対象年齢：1才～5才／完全予約制）。  
お問い合わせ：(株)ポピンズTel:03-3447-2292 [12/11（日）締切]

チケット発売窓口：

イープラス eplus.jp  
チケットぴあ t.pia.jp  
0570-02-9999 (Pコード：305-868)  
新日本フィル・チケットボックス (対面、電話販売のみ)  
03-5610-3815 (平日：10-18時、土：10-15時、日祝休)  
トリフォニーホールチケットセンター (対面、電話販売のみ)  
03-5608-1212 (10-18時)

公演ホームページ：[http://www.smf.or.jp/concert/daiku\\_2016/](http://www.smf.or.jp/concert/daiku_2016/)

お問い合わせ：Sony Music Foundation (公益財団法人ソニー音楽財団) 03-5227-5233 (平日10時-18時)

主催：Sony Music Foundation (公益財団法人ソニー音楽財団)  
協賛：ソニー株式会社、ソニー生命保険株式会社、ソニー銀行株式会社  
後援：墨田区教育委員会  
協力：公益財団法人 新日本フィルハーモニー交響楽団

**報道に関するお問い合わせ** \*写真データのご用命は、下記にお申し付けください。

株式会社フューチャー・ピーアール・アンド・メディア 担当：永田全宏

電話：070-6476-9384/090-7249-9383 FAX：050-3737-7740 email nagata@fpm11.net

Sony Music Foundation 東日本大震災 復興支援プロジェクト  
小・中・高校生のための「第九」チャリティ・コンサート 2016  
【出演者プロフィール】

### 【指揮】

#### フランチェスコ・イヴァン・チャンパ Francesco Ivan Ciampa

1982年イタリア・アヴェッリーノ生まれ。ローマのサンタ・チェチーリア音楽院で、指揮をブルーノ・アブレア、作曲をジャコモ・ヴィターレに学ぶ。その後も、ジュリーニ、ジェルメッティ、アブレア、ノセダなどの下でオーケストラ指揮の研鑽を積んだ。イタリア国内で数々のコンクールの覇者となり、ローマ教皇ベネディクト16世のためにシューベルト「交響曲第8番」を指揮するなど、早くから輝かしい経歴を誇る。2008～2012年まで、サレルノのヴェルディ劇場にてダニエル・オーレンの助手を務めると共に、パルマのレジオ劇場、パレルモのマッシモ劇場、2012年のアリーナ・ディ・ヴェローナ90周年オープニングでは『ドン・ジョヴァンニ』などの重要な上演に携わった。

近年ではバスターコ・オペラやフェニーチェ劇場での『椿姫』や、ヘラクレスザールでのミュンヘン放送交響楽団公演、2015年イタリア万博での『椿姫』、ベルリン・ドイツ・オペラでの『ナブッコ』など、オペラとオーケストラコンサートの双方で目覚ましい活躍を見せる注目の指揮者である。



### 【ソプラノ】

#### 中村恵理 Eri Nakamura

大阪音楽大学大学院修了。新国立劇場オペラ研修所第5期生修了。

2008年より英国ロイヤルオペラハウスに在籍。2009年BBC主催カーディフ国際音楽コンクールにてファイナルに進出。翌年、英インディペンデント紙「Talent2010」音楽家部門に選出された。

2010年、バイエルン国立歌劇場ソリストとして専属契約。『ボリス・ゴドゥノフ』(BelAirよりDVDリリース)等に主要キャストとして出演。その他、ベルリン・ドイツ・オペラ、トゥールーズ歌劇場等に出演他、ロンドンフィル、フランス放送交響楽団、ヴァチカンでのローマ法王への御前演奏等、コンサートでも活躍している。

国内では2012、2015年に東京・紀尾井ホールにてリサイタルを開催、その成果に対し2012年度のアリオン賞本賞を受賞。最近ではロイヤルオペラ、ザルツブルグ州立歌劇場等でいずれも高い評価を得た。

今後は、バイエルン国立歌劇場、チェコ・フィルとの共演等、益々の活躍が期待されている。大阪音楽大学客員准教授。平成27年度第66回芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞。



写真：©Chris Gloag

## [メゾ・ソプラノ]

### 手嶋真佐子 Masako Teshima

東京藝術大学声楽科卒業、同大学院ソロ科および文化庁オペラ研修所修了。文化庁派遣芸術家在外研修員としてニューヨークに留学。1994年プラシド・ドミンゴ世界オペラコンテスト・メゾソプラノ部門優勝。早くからその才能は注目を集め、二期会創立50年記念『こうもり』オルロフスキー、新国立劇場・二期会共催『忠臣蔵』大石主税、同『ナクソス島のアリアドネ』作曲家等の他、小澤征爾音楽塾コンサート『カルメン』タイトルロール、日生劇場『オルフェオとエウリディーチェ』オルフェオ、新国立劇場『鹿鳴館』大徳寺公爵夫人季子等、数々の舞台に出演し常に高い評価を得ている。コンサートではバッハ「短調ミサ」、ドボルザーク「スタバトマーテル」、マーラー「交響曲第3番」「千人の交響曲」、ヴェルディ「レクイエム」等に出演。艶やかな美声、存在感のある舞台姿で聴衆を魅了している。東京藝術大学准教授。上野学園大学特任教授。二期会会員。



写真：©深谷義宣(aura)

## [テノール]

### 吉田浩之 Hiroyuki Yoshida

瑞々しく伸びやかな美声と叙情性豊かな表現力で聴衆を魅了し、高い評価を受けている我が国期待のリコ・レジェーロ・テノール。『こうもり』アルフレード役でオペラ・デビュー、以来、新国立劇場『トリスタンとイゾルデ』『フィデリオ』『ニュルンベルクのマイスター・ジンガー』『オテロ』『道化師』『ファルスタッフ』、日生劇場『魔笛』『ルル』、びわ湖ホール『サロメ』など数々の公演に出演。ミサ曲、オラトリオ等のソリストとしても卓越した歌唱に定評があり、小澤征爾、大野和士、チョン・ミンフン、クリスティアン・アルミンク等の指揮のもと、国内外のオーケストラと共演している。

国立音楽大学声楽科卒業。東京芸術大学大学院オペラ科修了。二期会オペラスタジオを優秀賞で修了。1990年、モーツァルト没後200年記念国際モーツァルト声楽コンクールソ本選入賞。翌1991年、文化庁派遣芸術家在外研修員としてローマに留学。1997年には第25回ジロー・オペラ賞新人賞受賞。東京藝術大学音楽学部声楽科教授。福井県敦賀市出身。



写真：© Eiji Shinohara

## [バリトン]

### 岡 昭宏 Akihiro Oka

国立音楽大学音楽学部声楽科卒業。東京芸術大学大学院修士課程修了。新国立劇場オペラ研修所第10期生修了。2010年PMF(パシフィック・ミュージック・フェスティバル)に参加し、『ラ・ボエーム』マルチェロ役にて世界的指揮者ファビオ・ルイーゼ氏と共演。2012年イタリア、ジェノヴァにてドン・カルロのロドリゴ役にてイタリア・デビューを果たす。

これまでに『フィガロの結婚』伯爵、『ドン・ジョヴァンニ』タイトルロール、『こうもり』ファルケ、『愛の妙薬』ベルコーレ、『ドン・パスカル』マラテスタ、『ファルスタッフ』フォード等を演じる。またバッハ「ヨハネ受難曲」、モーツァルト「レクイエム」、フォーレ「レクイエム」、ベートーヴェン「交響曲第9番」「ミサ・ソレムニス」等でソリストの経験を持つ。

第44回イタリア声楽コンクール 第1位シエナ大賞受賞。第12回東京音楽コンクール第1位及び聴衆賞。第82回日本音楽コンクール(オペラ)第3位。



## [ナビゲーター]

### 朝岡 聡 Satoshi Asaoka

フリー アナウンサー／コンサート ソムリエ

慶應義塾大学卒業後、テレビ朝日にアナウンサーとして入社。各種スポーツ中継や「ニュースステーション」初代スポーツキャスターとして活躍。1995年よりフリーとなってからはテレビ・ラジオ・CM出演のほか、クラシックやオペラ・コンサートの司会や企画構成にもコンサート・ソムリエとしてフィールドを広げている。ソリストや指揮者と繰り広げるステージ上の会話や、興味深い内容を軽妙なトークで展開する独自の世界は、新しい芸術ファンのおすそ野を広げる司会者として注目と信頼を集めている。

バロック・モーツァルト、ベルカントオペラには特別な情熱を持ち、毎年オペラ取材のためヨーロッパの歌劇場に通う愛好家でもある。





## 【管弦楽】

### 新日本フィルハーモニー交響楽団 New Japan Philharmonic

1972年指揮者・小澤征爾のもと楽員による自主運営のオーケストラとして創立。すみだトリフォニーホールを本拠地とし定期演奏会の他、地域に根ざした演奏活動も特徴的。1999年、小澤征爾が桂冠名誉指揮者に就任。2010/2011シーズンよりダニエル・ハーディングが“Music Partner of NJP”を務めた（～2015/2016シーズン）。受賞歴に三菱UFJ信託音楽賞（2009年、アルミンク指揮）、ミュージック・ペンクラブ音楽賞（2009年、ブリュッヘン指揮）等。この他2004年に音楽家・久石譲と立ち上げた“新日本フィル・ワールド・ドリーム・オーケストラ”で幅広い人気を集めているほか、映画「千と千尋の神隠し」「ハウルの動く城」「崖の上のポニョ」では管弦楽を担当。斬新な企画と優れた演奏は高く評価されている。



2016年9月よりドイツ歌劇場で研鑽を積んだ上岡敏之が音楽監督に就任。

写真：©K.MIURA

公式ホームページ <http://www.njp.or.jp/>

公式Twitter @newjapanphil

公式Facebook

<http://www.facebook.com/newjapanphil>

## 【合唱】

### 栗友会合唱団 Ritsuyukai Choir

#### ●栗友会合唱団／合唱

栗山文昭を音楽監督兼指揮者とする混声5 団体、女声6 団体、男声2 団体で構成されている。各団が独自に定期演奏会、演奏旅行、レコーディング等を行いながら、「栗友会」としても活動を重ねている。新日本フィルとも、歌劇『ローエングリン』、歌劇『ペレアスとメリザンド』、楽劇『トリスタンとイゾルデ』、シュミット「七つの封印を有する書」、マラー「交響曲第3番」「第8番く千人の交響曲」、ブリテン「戦争レクイエム」など数多く共演を果たしている。

#### ●栗山文昭／合唱指揮

指揮法を高階正光氏、合唱指揮を田中信昭氏に師事。現在13の合唱団を有する「栗友会」の音楽監督兼指揮者として活躍する傍ら、合唱人集団「音楽樹」の代表幹事として「Tokyo Cantat」などの企画に携わる。第20 回中島健蔵音楽賞奨励賞受賞。2015 年度下総統一音楽賞受賞。現在、武蔵野音楽大学教授。

**報道に関するお問い合わせ** \*写真データのご用命は、下記にお申し付けください。

株式会社フューチャー・ピーアール・アンド・メディア 担当：永田全宏

電話：070-6476-9384/090-7249-9383 FAX：050-3737-7740 email [nagata@fpm11.net](mailto:nagata@fpm11.net)